

長崎県犯罪のない安全・安心まちづくりの概要

長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり条例(平成17年4月1日施行)

犯罪のない安全で安心な地域社会の実現のためには、防犯対策を警察だけに任せるのではなく、県・市町、県民の皆さん、事業者の皆さんが一体となって、「自分の安全は自分で守る」、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防犯意識を持ち、日常生活の中でできる防犯対策を進め、犯罪の起きにくい環境を作っていくことや地域における自主防犯活動を活性化させていくことが大切です。

そこで、この取組みを県内全域において継続的かつ効果的に推進する基盤として、この条例が制定されました。

■ 条例の概要

基本理念(第2条)

犯罪のない安全・安心まちづくりは、県、市町、県民、事業者等の連携の下に推進

県の責務(第3条)

- ◎安全・安心に関する総合的施策の推進
- ◎安全・安心についての広報・啓発(第8条)
- ◎自主防犯活動に対する情報提供・支援(第10条)等

県民の責務(第4条)

- ◎安全・安心についての理解の深化
 - ◎安全確保への自らの努力
 - ◎県の施策への協力
- 等

事業者の責務(第5条)

- ◎安全・安心についての理解の深化
 - ◎事業活動における安全・安心の推進
 - ◎県の施策への協力
- 等

推進体制の整備(第6条)

犯罪のない安全・安心まちづくりを効果的に推進するために、

- 行政、県民、事業者等が一体となった推進体制

長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進県民会議

会 長 : 知事
副会長 : 副知事及び会長が指名する者

- 構成メンバー: 県民、地域及び事業者団体、学校・PTA、学識経験者、市町等の代表者
- 所掌事務: 犯罪のない安全・安心まちづくりに関する施策の推進、行動計画策定等に関する提言 など

- 県(知事部局)、教育庁、警察本部による庁内の推進体制

長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進会議

会 長 : 知事
副会長 : 副知事、警察本部長及び教育長

- 構成メンバー: 庁内の関係部局長
- 所掌事務: 犯罪のない安全・安心まちづくり行動計画の推進、その他推進上の重要事項 など

を設置し、互いに連携、協力しながら各種施策に取り組むこととしています。

第4次長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり行動計画とは・・・

県民の皆様が安全・安心を実感できるまちづくりを進めていくため、令和3年度からの5年間で取り組む施策等の方向性をしめした「第4次長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり行動計画」を策定しています。

行動計画(第7条)

犯罪のない安全・安心まちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための行動計画を策定

■ **目 標** 犯罪のない日本一安全・安心な長崎県を目指します

■ **指 標** 刑法犯認知件数における全国トップレベルの治安水準の維持

目標を達成するために、犯罪のない安全・安心なまちづくりに向けた意識づくり・地域づくり・環境づくりの基本方向ごとの施策に可能な限り数値目標を設定し、取り組むこととしています。

■ **計画期間** 令和3年度から令和7年度(5年間)

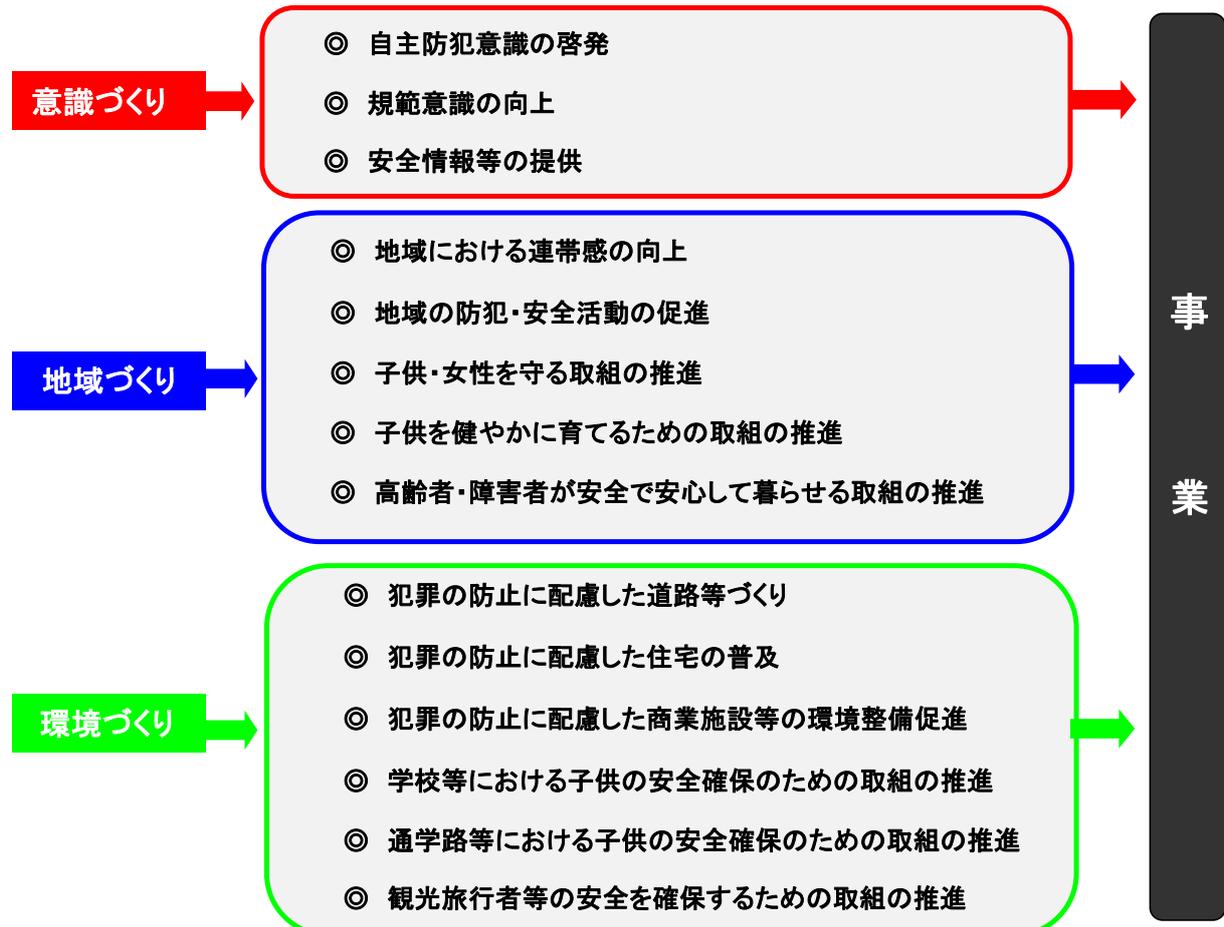
■ **基本方向**

- 1 犯罪のない安全・安心まちづくりに向けた**意識づくり**
「自分の安全は、自分で守る」という自主防犯意識と規範意識を高めていきます。
- 2 犯罪のない安全・安心まちづくりに向けた**地域づくり**
お互いを守り支え合い「自分たちのまちは、自分たちで守る」という地域づくりをす
- 3 犯罪のない安全・安心まちづくりに向けた**環境づくり**
「犯罪にあわない、起こさせない」ための環境づくりをすすめます。

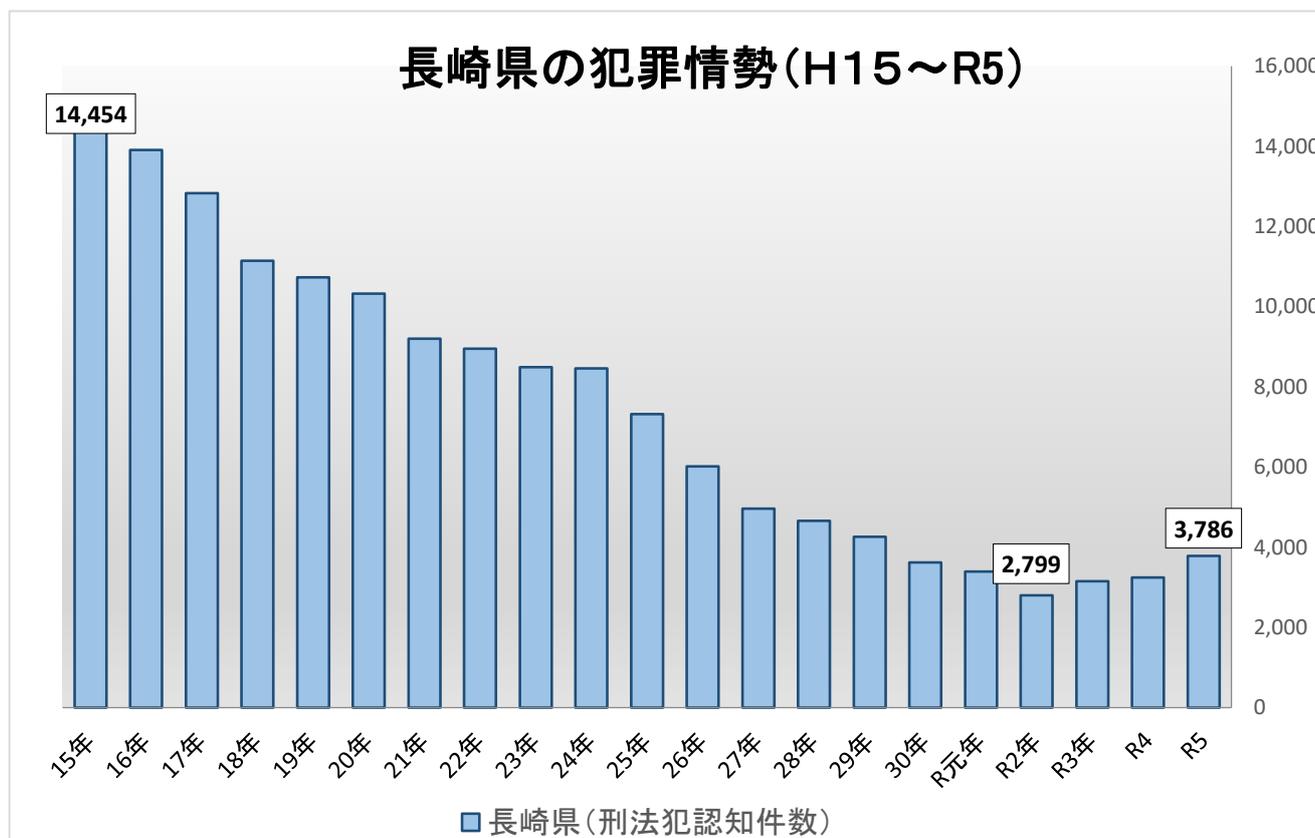
■ 施策の体系

【取組の基本方向】

【 施 策 】

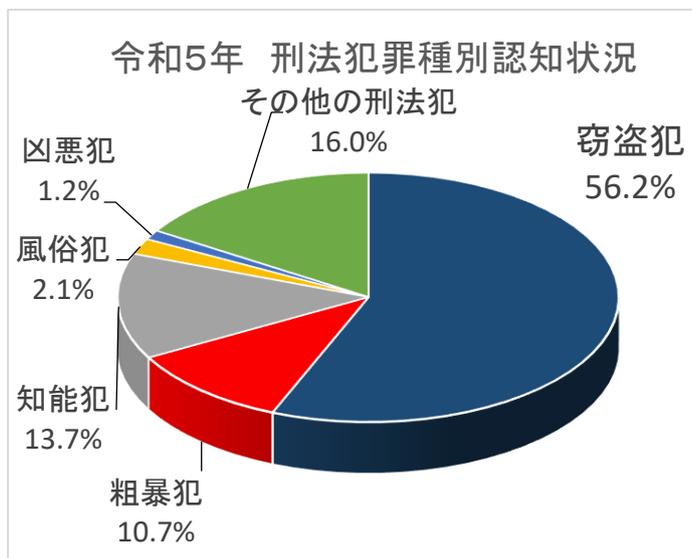


○長崎県の刑法犯認知件数の推移



R5の刑法犯認知件数の内訳

罪種別	件数
窃盗犯	2,129
粗暴犯	405
知能犯	520
風俗犯	78
凶悪犯	47
その他の刑法犯	607



R5の犯罪率が低い方からの順位

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 岩手県 (241.8件) | ④ 山形県 (286.3件) |
| ② 秋田県 (258.4件) | ⑤ 長崎県 (295.1件) |
| ③ 大分県 (270.4件) | |

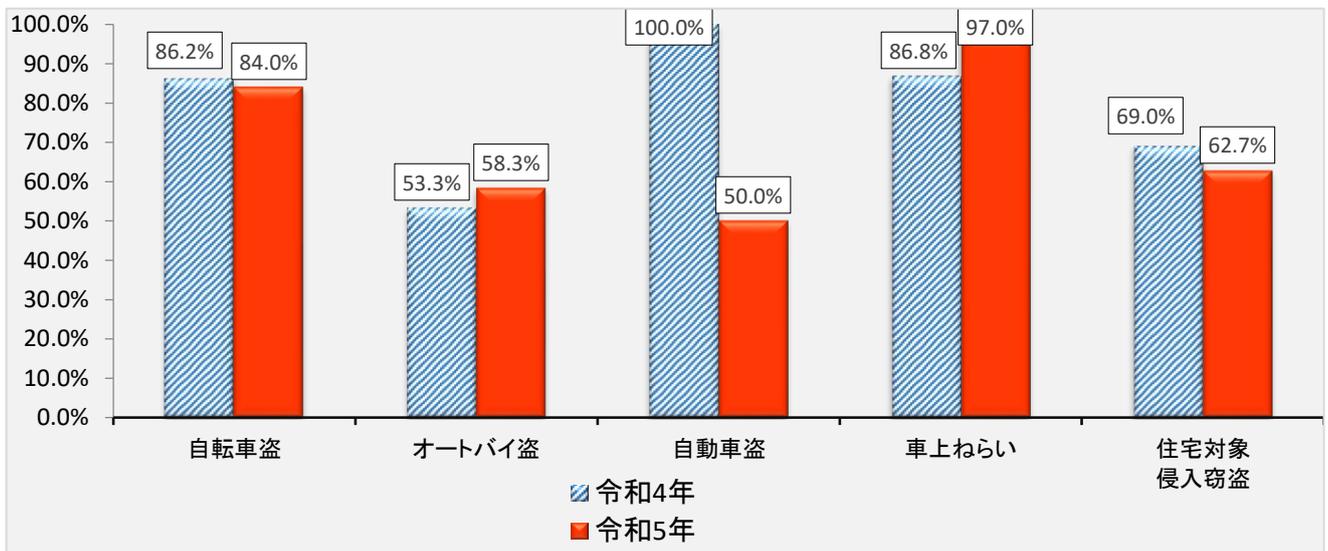
※犯罪率とは、人口10万人あたりの刑法犯認知件数をいう。

- ◎ 令和5年の刑法犯認知件数は3,786件(前年比+542件)であり、3年連続で増加
- ◎ 罪種別で最も増加しているのは、窃盗犯であり、その中でも自転車盗、万引きが増加している。
- ◎ 窃盗犯の次に増加しているのは知能犯であり、その中では詐欺が特に増加している。
- ◎ 不同意性交等が増加している。(38件認知、前年比+28件)

○無施錠による被害状況

【令和4年との比較】

		自転車盗	オートバイ盗	自動車盗	車上ねらい	住宅対象 侵入窃盗
令和4年	無施錠数/総数(件)	219/254	8/15	4/4	66/76	40/58
	無施錠率	86.2%	53.3%	100.0%	86.8%	69.0%
令和5年	無施錠数/総数(件)	258/307	14/24	5/10	96/99	52/83
	無施錠率	84.0%	58.3%	50.0%	97.0%	62.7%



○二セ電話詐欺事件の発生状況

【過去5年間の概況】

1 認知件数(内訳含む)の推移(過去5年間)

		R1	R2	R3	R4	R5
主な手口	オレオレ詐欺	8	3	0	4	4
	架空料金請求詐欺	20	22	61	84	99
	融資保証金詐欺	5	4	6	2	5
	還付金詐欺	0	1	21	13	9
その他		3	8	9	10	27
総計		36	38	97	113	144

2 被害額(内訳含む)の推移(過去5年間)

		R1	R2	R3	R4	R5
主な手口	オレオレ詐欺	16,600,000	4,100,000	0	52,500,000	10,342,000
	架空料金請求詐欺	176,636,400	38,009,060	222,728,946	129,241,534	205,470,941
	融資保証金詐欺	5,008,658	4,122,950	19,805,598	610,000	3,486,400
	還付金詐欺	0	752,246	14,636,883	8,704,578	5,122,430
その他		7,591,000	65,271,498	11,721,477	10,556,580	152,991,663
総計		205,836,058	112,255,754	268,892,904	201,612,692	377,413,434

※「その他」とは、金融商品詐欺、交際あっせん詐欺、ギャンブル詐欺など6手口がある。